

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年12月26日】第149号



給食試食会

12月12日(月)、13日(火)そして16日(金)に、それぞれ1年生、2年生そして3年生の保護者様を対象とした、給食試食会を実施しました。2019年度に1期生(現4年生)の保護者様を対象になごやかに給食試食会を実施して以来、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施できなかったものですが、事前のアルコール消毒、そして保護者様には、手洗い、黙食などのご協力をいただくことができると判断して実施に踏み切りました。

ボランティアの保護者様に配膳と下膳をお手伝いしていただき、各学年60名以上の保護者様が参加されました。基本献立作成と調理ほかを委託している株式会社共立メンテナンスによる動画での説明、栄養教諭による本校の給食の考え方の紹介、さらに、校長からは食育ミニ講義として農作物の品種についてお話させていただきました。

なお、12日はごはん、ぶりダイコン、れんこんチップスサラダ、カボチャのごまみそ汁、きなこミルクゼリー、牛乳、13日はごはん、嬉嬉豚のヒレカツゴマソース、キャベツとコーンのサラダ、サツマイモのみそ汁、焼きリンゴ、牛乳、そして16日はごはん、肉じゃが、はなっこりーのごまみそ和え、春菊のかきたま汁、ハチミツりんごゼリー、牛乳というメニューでした。メニュー名だけではわからない細かい工夫や特色も、栄養教諭からご紹介させていただきました。

なお、保護者様には廊下からでしたが、子どもたちの給食風景もご覧いただきました。てきぱきと配膳したり、指示を守って黙食したりする子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか。

一年生は遠足へ

12月16日(金)、1年生はそろって多摩動物公園に遠足に出かけました。多摩動物公園への遠足もまた、1期生(現4年生)が経験したのを最後に、新型コロナウイルス感染防止の観点から、団体での入園ができないままになっていたものです。

子どもたちは制服の上に防寒着をしっかりと着こみ、バスに乗って嬉しそうに出発しました。担任に引率され、広い園内を一緒に歩いたり、動物を見たりして楽しく過ごすことができました。動物園でも、水族館でも、ご家庭でも連れて行っておられることと思います。しかし、友だちということの楽しさもぜひ、知ってもらいたいと考えています。「もう、行ったことがある！」ではなく、今まで気づかなかったこんな動物がいた、先生からこんなお話を聞いた、友だちと一緒に弁当を食べたらこんなことがあった、という発見のできる子どもたちであってほしいと願っています。今回の遠足でも、子どもたちはたくさんの発見ができたようです。お家でもお話が弾んだことでしょう。

落ち葉たい肥作りとシクラメン寄せ植え

12月19日(月)、4年生の稲花タイムでは、落ち葉たい肥作りを行いました。指導をしてくだ

さったのは、東京農業大学グリーンアカデミー副校長の大出英子先生と梅木裕俊先生です。子どもたち、そして清掃の皆さん、さらには事務室の皆さんにもご協力いただいて集めた落ち葉はなんと大きな袋で36袋。また、土も2袋準備しました。たい肥作り用の枠は、森林総合科学科の大林宏也教授が学生さんを指導して作成してくださいました。

まず、土を柔らかくするたい肥の役割を習った後、サブグラウンドに置いた枠に、落ち葉を入れ、子どもたちが踏んで細かくしていきました。あんなにたくさんあった36袋もの落ち葉が見事、落ち葉たい肥の枠にすべて入ったのには誰もが驚いたのではないのでしょうか。これから1か月に1回程度、繰り返し作業を行い、来年の秋には落ち葉たい肥が完成することが期待されます。

今までは準備していただいた土を使って栽培し、使い終わった土の処理も担当の教職員にしてもらっていた子どもたちですが、4年生になり、土づくりから取り組むことができるようになったのは素晴らしいことです。

なお、大出先生には2019年9月、本校教育後援会のキックオフイベントで、親子寄せ植え鉢づくりの御指導をいただきました。今回のご来校時に、素敵なシクラメンの寄せ植えをプレゼントしてくださいました。寄せ植えの楽しさも、また教えていただけたらと考えています。



しょうゆ塾

12月20日(火)の3年生稲花タイムは、「しょうゆ塾」でした。キッコーマン株式会社からしょうゆ博士とそのチームの皆さんが来校し、しょうゆが使われている食べ物は？ しょうゆは何からできている？ しょうゆができるまで、……とテンポよく充実した楽しい授業が進みました。麴やしょうゆをしぼる「ろ布」を見たり、しょうゆ粕のにおいを嗅いだり、濃口、減塩、再仕込み、薄口、出汁入りの計5種類のしょうゆの色を観察し、味見をしたりしました。教室にはしょうゆの良い香りが満ちました。まとめとして教えていただいたおいしいものを食べるのが大切なのではなく、おいしくものを食べるのが大切であるというメッセージを、子どもたちはご家庭に持ち帰ったことでしょう。

子どもたちは授業の終わりに、しょうゆ粕を混ぜて作ったはがき(再生紙)と、特選丸大豆しょうゆミニボトルをプレゼントしていただきました。

この授業は、東京農業大学とキッコーマン株式会社とのご縁によるもので、昨年から行われるようになりました。農大稲花小の子どもたちの興味・関心に合わせて工夫された授業に感謝しています。また、しょうゆアンケートにご協力くださいました保護者の皆様にも御礼申し上げます。

きのこ博士がやってきた

12月22日(木)、東京農業大学学長江口文陽先生が、1年生の子どもたちにミニ食育講義「きのこの話」をしてくださいました。きのこの刺繍入りのシャツにきのこの帽子をかぶって登場した江口先生を、子どもたちは興奮気味に迎えました。きのこが自然界で果たす役割、健康への良い効果、様々なきのこの種類などについて、わかりやすくお話くださいました。12月の最初に江口先生からなめこの菌床栽培セットを頂いている1年生です。すでになめこが育っているという子どももいて、盛り上がりました。また、質問では、きのこの不思議な形の理由、毒キノコが毒をもつ理由など、1年生としてはよく考えた質問が出たのはうれしいことでした。質問にも丁寧にお答えくださった江口先生の研究室に学んで、将来、きのこ博士になる子どもが現れるかもしれないと、とても楽しみです。



木の感触を楽しむ

12月22日(木)には8日(木)にすでに実施した2年1組に続いて、2年2組が、東京農業大学森林総合科学科大林宏也教授の御指導により、木工に取り組みました。先週の稲花タイムの授業では、東京農業大学の教授である大林先生にお越しいただき、木工の授業をしていただきました。

授業では、ヒノキ・スギ・タモ・チェリー・ウォールナット・ホワイトオーク・ハードメイプルなど、世界から取り寄せた7種類の木材を先生がご持参。地球上のどこから来た木材なのかを教えてください、色、香り、木目などの違いを、子どもたちは五感で楽しみ、学びました。木材は薄く切られた「つき板」になっており、これらを自由に使って、子どもたちはそれぞれの作品作りをしました。

木の香りが満ちる教室で、様々な色や木目から触発されるものは大きいようです。子どもたちの創造力がのびのびと発揮できる授業となりました。作品をお家の方に見てもらおうの楽しみに、子どもたちは帰宅しました。

お世話になりました

本校がスタートした2019年4月から体育を担当してきた非常勤講師の先生が、2学期末をもって退職され、子どもたちは、折り紙で作った飾りなどをプレゼントして先生をお送りしました。

農大稲花小の子どもたちの特性をよく理解し、体力作りに貢献して下さった先生には、感謝の気持ちで いっぱいです。これからのご活躍をお祈りしています。

終業式

12月24日(金)には終業式を迎え、2学期が終了しました。この日、成績表「みのり」は担任から一人ずつの子どもに、励ましの言葉とともに手渡されました。荷物の持ち帰りについては前倒しで計画的に行いましたが、それでもいつもより多い荷物と成績表「みのり」を持って子どもたちは帰宅しました。持ち帰った荷物の整理を行って新学期に備えるとともに、2学期の作品についてはご自宅に飾るなどしてその頑張りを大いに褒めてください。成績については、優れたところはそれを維持し伸ばすとともに、残念ながら遅れたところは基礎にもどって習熟するよう励ましていただくよう、保護者の皆様にはお願いいたします。

本校では「3つの心と2つの力」を育成するため、「10の能力」を教育指標として設定し、教育方針を実現するカリキュラムを作成しています。成績についても、狭い意味での成績、すなわちどの科目の成績が良かったか、悪かったかだけに注目するのではなく、子どもたちの「取り組みの姿勢とその成果」に注目した評価を行います。何事にも積極的に取り組み、友だちとそれを共有しようとする姿勢こそ、将来にわたって伸び続けるために必要な、真の学力だと考えるからです。

さて、冬休みは短く、慌ただしいものです。毎日、少しでも机に向かい、読書や学習の習慣を大切にするとともに、挨拶や食事のマナー、公共の乗り物でのマナー、身支度や整理整頓など基礎的な生活習慣が身に付いているかどうか、見直す機会でもあります。一方、クリスマスやお正月などもある冬休みは、子どもと家族がゆっくりと向かい合い、楽しい思い出をつくる時期でもあります。家族に愛され支えられているという実感を持つことは、子どもたちにとって何より大切なことです。子どもたちが意欲を持って3学期を迎えられるよう、保護者の皆様からのご指導もお願いいたします

年末にあたって

保護者の皆様、また、農大稲花小の教育を応援して下さった皆様には、今年もお世話になりました。教職員一同とともに、御礼を申し上げます。

学校法人の御用納めは12月26日(月)でした。農大稲花小は12月24日(土)から児童、教職員ともに冬休みとなり、アフタースクールに来ている子どもたちがグラウンドで遊んだり、交流室で過ごしたりしている声が聞こえます。同時に、この日は、5年生用の椅子や机の搬入も行われ、新年度に向けての準備も行われていました。そして、東京農業大学の正門には門松が飾られました。皆様にもどうぞ、よいお年をお迎えください。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子